

2009年9月28日

ランクセス、合成ゴム誕生 100 周年の記念シンポジウムを ドイツ・ケルンで開催

～政財界および学会から招かれた著名人と 18 カ国から 400 人が参加、
合成ゴムのさらなる可能性を確認～

ランクセス株式会社

高性能ゴムを提供する世界有数の特殊化学品メーカー、ランクセス(LANXESS)は、9月12日、化学者フリッツ・ホフマンが合成ゴムを発明してから今年で100周年を迎えるにあたり、ドイツ・ケルンのグーゼニヒ・ホールで記念シンポジウムを開催しました。このシンポジウムでは、ランクセスのCEOであるアクセル・ハイトマンをはじめとする14名の登壇者が、合成ゴムの最新技術や、開発・用途における今後の可能性、市場の将来性についてディスカッションをしました。世界18カ国から400人が参加し、出席者は合成ゴムに関する講演とパネルディスカッションを通じて、合成ゴムの革新性と将来性を改めて認識しました。

主な登壇者の講演・パネルディスカッションの内容は次の通りです。

■ランクセス(ドイツ本社) CEO アクセル・ハイトマン

「合成ゴムの未来は、今始まる」

オープニング・スピーチ要旨：合成ゴムがいかに重要な素材であるか、そしていかに注目を集めているかは、本日のような大きなイベントを開催したことから明らかです。しかし100年前に合成ゴムが発明された時には、このように広く使われる素材になると誰ひとり予想していませんでした。ランクセスは、合成ゴムの未来は、今まさに始まったばかりであると考えています。そして私たちは、今後もこの製品の多様性と卓越した化学的特性を最大限に活かすための取り組みを続けていきます。合成ゴムは、自動車エンジニアリング、発電、医薬品、スポーツ、さらには航空宇宙産業で、この数十年の間に多大な革新をもたらし、多くの人が考える以上に様々な物に使われています。合成ゴムはランクセスにとって、現在もそして今後も最も重要な製品であると確信しています。

■ノルトライン・ウェストファーレン州科学研究大臣 アンドレアス・ピンヴァート

「過去から学ぶ」

講演要旨：100年前に取得した合成ゴムの特許を誇りに思うとともに、ランクセスのような世界的な特殊化学品メーカーがノルトライン・ウェストファーレン州を拠点にしていることを嬉しく思います。合成ゴムの基礎は、1909年に化学者フリッツ・ホフマンが伸縮素材のメチルイソプレンを発明した

ことにさかのぼります。同年の 9 月 12 日、つまり 100 年前に、ドイツ帝国の特許庁から「合成ゴムの製造過程」に関しホフマンの勤務先のエルバーフェルダ・ファルベンファブリーケン社に特許番号 250690 が与えられました。

ランクセスのような実績ある会社が、合成ゴムの品質向上に継続的に貢献しているからこそ、ゴム業界に明るい未来が開けます。ランクセスは、未来を切り開くのは「革新」あってこそという理念のもと、今年が世界的な経済不況で非常に困難な年であるにもかかわらず、研究費の予算を 10%増加しました。ドイツの将来に大切なことは、優秀な人材の育成です。そのためにも教育に投資し、その投資を知識という資産に還元していかなくてはなりません。合成ゴムが発明された 100 年前は、ドイツ帝国が大学などの教育機関に巨額の費用を投じました。ドイツが世界有数の輸出大国としてあり続けるためには、世界でもトップレベルの教育水準を追及し続けなくてはなりません。そのためには、投資が不可欠です。

■ドイツ連邦経済技術省事務次官 ヨヘン・ホマン

講演要旨：産業大国ドイツの地位をさらに強固なものとするため、ランクセスに更なる研究開発の拡大を提案しています。ドイツ社会の繁栄は、国内産業の成長にかかっています。

■ドイツ化学工業協会 (VCI) 会長 ウルリッヒ・レーナー

「化学業界は社会問題の解決者」

講演要旨：合成ゴムとその用途には大きな開発の可能性があると考えています。化学は人々の生活向上に貢献しており、合成ゴムはその代表的な製品です。化学産業はドイツにとって非常に重要で、化学業界で生まれる多くの革新的な製品が、これからも社会の問題解決に貢献していくと思います。ドイツの化学産業は極めて堅調で、温暖化防止策や高齢化社会における取り組みなどと並び、ドイツが世界に誇る最も革新的な分野です。

■ダイムラー・トラックス社 役員 ギオグ・ヴェイバーク

「環境に優しく、快適な自動車走行に貢献する合成ゴム」

講演要旨：燃費の削減と車両の信頼性を最大限に高めることは、今後の自動車産業にとって大きな課題です。ダイムラー・トラックス社は、技術の改善により 2020 年までに車 1 台あたりの燃費を 20%削減することを目標として掲げています。合成ゴムは、車両重量の低減、タイヤの転がり抵抗の改善、特殊なホイールトリムの開発など、この目的達成に向け重要な役割を担っています。さらに、合成ゴムが実現する騒音や振動の軽減は環境への配慮だけではなく、快適な自動車走行にも貢献します。

■ミシュラン・グループ マネージングパートナー ディディエ・ミラトン

「夢にむかって」

講演要旨：タイヤメーカーであるミシュラン社にとって、未来のビジョンを掲げることはとても重要です。私達は、将来を見据え、夢を追求しなければなりません。顧客のニーズを将来的見地で把

握ることにより、今後、何を開発すべきかを知ることが出来ます。たとえば、私達は将来の移動手段において低燃費タイヤが重要と認識し、その研究開発に15年間取り組んできました。しかし、移動手段と人々のニーズは絶え間なく変化し続けているため、私達は常にさらに先へと進んでいかななくてはなりません。

■**ミュンヘン工科大学教授 ホースト・ヴィルデマン**

「**合成ゴムは今後も大きな可能性を持つ**」

パネルディスカッションからのコメント：ランクセスの開発チームは、同社の合成ゴム開発における100年の実績をもとに、合成ゴムの新たな方向性の探求を提案しました。合成ゴムは、欧州においてさらに5~9%の成長率で伸びる可能性があります。

■**ドイツゴム工業経済連盟(WdK) フリッツ・カツェンシュティナー**

パネルディスカッションからのコメント：合成ゴムは自動車業界をはじめ、医学やスポーツ分野でさらに多様な用途に使用される可能性を有しています。今後の課題は、合成ゴム製造過程で使用される環境に配慮した新代替物質の開発、国際貿易の障害を取り除くこと、人々の移動手段の変化です。

#

このリリースは、ドイツ・レバークーゼンで9月13日に発表されたリリースをもとに、ランクセス株式会社が発表したものです。

このリリースの原文(英語)は、以下のURLにてご参照下さい。<http://www.press.lanxess.com>

ランクセスについて

ランクセスは、世界23カ国で事業を展開する大手特殊化学品メーカーです。2008年の総売上は65億8000万ユーロにのぼり、全世界の従業員数は約14,335人、世界中に46の拠点を展開しています。主な事業は、プラスチック、合成ゴム、中間体、特殊化学品の開発、製造とマーケティングです。ランクセスについての詳細は同社URLにてご確認下さい。<http://www.lanxess.co.jp>

本件に関するお問い合わせ先:

ランクセス株式会社 コーポレートコミュニケーションズ

佐野 公美

TEL : 03-5293-8005 FAX : 03-5219-9773

kumi.sano@lanxess.com

免責について (Forward-Looking Statement):

このニュースリリースには、ランクセス経営陣による現在の仮定と今後の予測に基づく記述があります。既知あるいは未知の各種リスクや不確定性、その他の要素により、本頁に記載された予測と弊社の今後の総合売上高、財務状況、業績の数字が異なる場合があります。弊社は、ニュースリリースの記載事項を更新、もしくは今後の出来事や進展状況に合わせ、内容を変更する義務はないものとします。

(2009-00168J)